

エクストラート EXTRART FILE 19

FEATURE
その存在の、ミステリアス

藤井健仁
モリケンイチ

後藤温子

中井結

棚田康司

◎PICK UP ARTISTS

ホシノリコ

新竹季次

中川ユウキチ

宮本香那

江村玲

◎REPORT

ミラノ、ブレシアを巡った平成最後の遣欧使節

◎海外アーティスト

トロイ・ブルックス

このラベルはきれいにはがせます



spSF8034247

清水真理と宝塚大学の講師・研究生による イタリアでの展示イベントレポート

文＝清水真理



日本人形など店内のディスプレイとともに飾られた戸谷耕平の作品（左下4点）



Oaji Giapponeseのエントランス



清水良理の人形作品＝(左)『地獄太夫』2018年、80cm (右)『春華』2017年、70cm



左下は菊入百合子の、その右2点は吉田光彦の作品



★展示作品より、北見隆の作品

(右上)《魚舟》2017年、180×140mm、アクリル絵具

(左上)《南蛮寺の利休》2004年、180×140mm、アクリル絵具

(下)《ベネチアの人魚》2013年、680×270mm、アクリル絵具





★展示作品より、高田美苗の作品
 (上)《オマプリ》2018年、200×200mm、
 混合技法(アルキド樹脂絵具、油彩、板)
 (下)《カクレ》2018年、339×137mm、鉛筆





イタリアのミラノ、ブレシアを巡った
平成最後の遣欧使節



★ブレシア郊外のCascina Riscattoで開催されたFuji-kaiの秋のオープンティで
ライブペインティングする戸谷耕平（撮影：清水真理＝左頁も）



★Fuji-kaiの秋のオープンデイの展示風景

1582年、イタリア人宣教師にしてイエズス会の巡察師アレッサンドロ・ヴァリニャーノは、キリシタン大名の名代として四人の少年使節をイタリアに派遣した。日本人にヨーロッパのキリスト教文化を見聞、体験させ、その栄光や偉大さを日本に語らせ、布教に役立てたいと願ったのだ。

それから約440年を経た2018年、宝塚大学の講師・研究生有志5人がイタリアを訪ね、人形作家の私、清水真理とともに、北イタリアの都市ミラノとブレシアにて、作品展示とワークショップ等をおこなった。

宝塚大学から参加したのは漫画領域と、イラストレーション領域からの合計5人で、漫画原作者の竹内一郎はイタリアでの漫画教育を調査し、アニメ・ジョジョの奇妙な冒険の作画監督等で活躍する芦谷耕平は、作画のための現地ロケという目的で研究生を同行して10日ほどイタリア各地を訪ねた。

この間、ミラノにある日本料理店Oai: Japaneseではイラストレーション領域講師陣による絵画の展示、ブレシアの日本人会Fujikaiオープンデイでは展示とデモンストレーション、Comic League of Bresciaでは展示とワークショップがおこなわれた。清水もそれらに参加し、多くの日本文化に興味を持つ現地の人との交流や意見交換の機会を得た。

清水は2011年よりブレシアの親日イベントでの人形展示に参加してきた。近年イタリアでも日本の漫画・コスプレ文化の人氣は浸透しており、各都市でのコスプレイベント等も年々増加。日本語や漫画を勉強する若者も増えている。展示やワークショップのためにイタリアを訪ねるたびに、日本語通訳や、日本の漫画だけでなくゴシック・ロリータや人形等に興味を持つ現地の知人も増え、今回の宝塚大学のデモンストレーションのサポートもおこなうこととなった。

清水も、人形展示やワークショップの他、ブレシアのカメラマンBarbara Cutillettiによるイタリア人モデルとのコラボレーション写真の撮影など、作品発表の場を現地の協力を得ながら開拓することができた。

ミラノの地下鉄Primitivo駅近くの日本料理店Oai: Japaneseでは、清水の花魁人形2体とともに、イラストレーション領域講師である北見隆、高田美苗、吉田光彦、また作画監督の芦谷耕平、助手の菊入百合子による日本をテーマにした作品が展示された。

イタリアでは現在、北見、歌麿、月岡芳年の版画や漫画・アニメの人氣は高いが、日本のイラストレーションの認知度はそれほど高くはない。今回は北見隆と高田美苗は、日本とイタリアに関係する意欲的な作品を発表した。

イタリアのフレスコ画等古典技法から着想を得た北見の、千利休やベネチアを背景にした作品は、ミラノ、ブレシアでも好評だった。高田はイタリア人のハーフの少女をモデルに、隠れキリシタンの風習である「おまぶり」をテーマにした新作を発表。また、日本・イタリア双方で人氣・認知度の高い芦谷耕平のライブペインティングも盛況だった。

ブレシアは、ミラノとベネチアを繋ぐ北イタリアの列車FRECCORDAミラノから1時間。北イタリア第二の都市である。ファッションの街ミラノとロミオとジュリエットの街ヴェローナの中間に位置し、アルプスの鉅脈で古くから武器産業で発展した。現在は重工業地帯で、アフリカやイスラム圏からの移民労働者が年々増えている。

ブレシアには現在、女性を中心に国際結婚した日本人が約700人在住している。その日本人の言葉や文化、習慣の理解をさらに深める目的で生まれた団体が、北イタリア最大の日本人会「ミラニ」である。



★清水真理の人形と、イタリア人モデルとの
コラボレーション写真。右上は清水の人形。
(撮影: Barbara Coltili)



Fuji-kaiの秋のオープンデイのイベントは、ブレスシア郊外のCascina Riscattoで開催された。茶道や書道、日本食等とともに宝塚大学からの参加者による学校紹介とパフォーマンスがおこなわれ、1日で2000人を超える観客が訪れた。

また、ブレスシア駅から近いComic League of BRIXIAは、日本の漫画・アニメ中心のコミックショップであり、ここでも人形展示とワークショップ、大学紹介がおこなわれ、多くの現地の人形や漫画に興味がある若年層の人々が集まった。

ブレスシアはまた、織田信長の時代の関西で多くのキリシタン大名に洗礼を授けたイタリア人宣教師オルガンティノの出身地でもある。日本の封建社会的忠義心と西洋のキリスト教的隣人愛の狭間で絶命した細川ガラシャを茶毘に付したのも、オルガンティノである。日本の文化を理解、受容し、多くの文化やキリスト教・哲学思想等を日本人に伝播しようと務めたイタリア人の宣教師達



★Comic League of BRIXIAでのワークショップの参加者。手に持っているのは完成作品。
中央に座っているのが清水真理。

※ミラノの日本料理店Oaji Giapponeseでの展示は2018年10月15日～23日に、ブレスシアのFuji-kaiオープンデイは2018年10月14日に、Comic league of BRIXIAでの展示は2018年10月21日～22日に開催された。

宝塚大学有志による平成最後の年の遺欧使節は、ミラノ、ブレスシアの若年層から年輩層まで、とても好意的に歓迎された。今回のイタリア各地での見聞をオンラインピック開発で湧く日本に有効に伝播出来るだろうか？
今後の各人の活躍に期待したい。(清水真理)

のひとりだ。



9784883753383

ISBN978-4-88375-338-3

C0370 ¥1200E

EXTRART^{エクストラート} FILE 19

定価(本体1200円+税)

発行◆アトリエサード 発売◆書苑新社



1920370012009

THART^{Series}

好評発売中!!

艶かく息づく球体関節人形、
幻想的な物語奏でるオブジェ。
ホシノの10年の歩みをまとめた待望の
作品集! 写真=吉田良、田中流



ホシノリコ 作品集
「蒼燈のぼら」

B5判・ハードカバー・64頁・定価2750円(税別)

リアルにつくり上げられた驚きの
ミニチュア・ワールド!
はが いろいろの 抒情あふれる世界を
おさめた、ノスタルジックな作品集。



芳賀一洋 作品集
「錠前屋のルネはレジスタンスの仲間」

A5判・並製・224頁・定価2222円(税別)

天使というタナトスの間に浮かぶ、
エロスの残像。天使や人鳥を
受難の女性を見守る死の影として
配置した、村田ならではの禁断の世界。



村田兼一 写真集
「天使集」

B5判・ハードカバー・96頁・定価3200円(税別)

少女よ あなたは 世界を変える——
少女の無垢と欲望を、
インパクトあるヴィジュアルで表現してきた
美島菊名、初の写真作品集!



美島菊名 写真作品集
「HOPE」

B5判・ハードカバー・64頁・定価2750円(税別)

横溝正史といえば、杉本一文。
数多く手がけてきた装画作品の中から、
横溝作品を中心に約160点を
精選して収録した待望の画集!



「杉本一文『装』画集
〜横溝正史ほか、装画作品のすべて〜

A4判・カバー装・128頁・定価3200円(税別)

妖しく溶け合う、肉体とオブジェ。
異形の写真家・谷敦志が、
女体のコラージュによって生み出した
極北の美の世界。



谷敦志 写真集
「D. P Collage Series」

A4判・ハードカバー・64頁・定価3800円(税別)

なんて奇妙な、ワンダーランド!
「ポロニャ国際絵本原画展」入選など
不思議な世界観で人気を集める
森環の、幻想的で繊細な鉛筆画集!



森環 画集
「愛よりも奇妙〜Stranger than love〜

B5判・ハードカバー・64頁・定価2750円(税別)

異形の子供たちは、夜をさまよう——
林美登利の人形を田中流が撮影し
その世界と共鳴した石神茉莉が
小説を書いた、珠玉のコラボ、第2弾



林美登利 人形作品集
「Night Comers〜夜の子供たち」

A5判・ハードカバー・96頁・定価2750円(税別)